

最終更新日：2024年8月9日

『蛮族サプリメント 特設Q & A』

ここでは、2024年に発売されたサプリメントなどに掲載されているルール、データ、その他設定などの運用についてのQ & Aを掲載しています。

合わせて対応書籍のエラッタも確認してください。

対応書籍

- | | |
|---------|----------------------------|
| 2024年5月 | リプレイ『異端者たちの蛮歌』 |
| 2024年6月 | サプリメント『バルバロスレイジ』 |
| 2024年7月 | サプリメント『バルバロスサーガ 人族と蛮族の英雄譚』 |

エラッタ内容は以下のページから確認できます

ソード・ワールド 2.5 エラッタ・追加データ

https://www.groupsne.co.jp/products/sw/eratta/2_5index.html

●QBR-001：「蛮族PCの仕様の変更について」

『ソード・ワールド 2.5』（以下『SW2.5』）の蛮族PCは、『ソード・ワールド 2.0』（以下『SW 2.0』）と使用可能なデータや数値が異なりますが、これは仕様ですか？

ABR-001：

はい、仕様となります。『SW2.5』において、調整、変更されているものがあります。

●QBR-002：「手を失うコア部位について」

変身時、コア部位が手を失う種族（ディアボロ、ドレイク、バジリスク）は、グラップラー技能を習得している場合、コア部位による〈投げ〉の使用は可能ですか？

ABR-002：

いいえ、できません。武器などに記されている「用法：1H」などは使用条件となり、それが満たせない場合、その武器などは使用することができません。〈投げ〉は「用法：2H」の武器であるため、腕がない場合は使用できません。

QBR-003：「ディアボロの胴体の装備について」

ディアボロは種族特徴【魔人化】で変身時、コア部位ではない【部位：胴体】に手を持ち、「用法：1H」もしくは「用法：2H」の武具やアイテムを使用できる、とありますが、コア部位がグラップラー技能を習得している場合、〈パンチ〉〈キック〉〈投げ〉は使用できますか？

ABR-003：

〈パンチ〉〈キック〉は武器の要件である「用法：1H」「用法：1H#」を満たせば、戦士系技能（シューターを除く）で武器として扱えます。ディアボロの【部位：胴体】は、これを使用できます。また、〈パンチ〉〈キック〉を扱えるということは、これをフィジカルマスター技能で扱うことも可能です。〈投げ〉に関しては、やや特殊な解釈となります。〈投げ〉はグラップラー技能専用の武器のため、要件に「グラップラー技能による使用」が加わります。

ディアボロ専用の魔装【戦士系技能使用】は厳密には「フィジカルマスター技能による判定を、コア部位が習得している戦士系技能で代用する」効果です。

ディアボロのPCがグラップラー技能を習得し、さらにフィジカルマスター技能で魔装【戦士系技能使用】を習得した場合、GMと相談し、参加者全員の許可が得られたなら、【部位：胴体】が〈投げ〉を使用できる、としてもかまいません。

常時特技〈投げ強化〉《踏みつけ》などは、原則としてコア部位にのみ効果のある戦闘特技であることに留意してください。

●QBR-004 : 「バード技能を習得しているディアボロについて」

バード技能を習得しているディアボロが変身し、「用法：2 H」の楽器を〔部位：胴体〕で扱うことは可能ですか？ また、その際呪歌は〔部位：胴体〕が使うことになりますか？

ABR-004 :

いいえ、使用できません。〔部位：胴体〕は楽器を演奏することは可能ですが、呪歌を習得しているのは〔部位：頭部〕として扱われます。これらは厳密には異なるキャラクターとして扱われるため、呪歌の効果を発揮することはできません。

ただし、例外的に〔部位：頭部〕および〔部位：胴体〕の双方の部位がひとつの呪歌の演奏を試みる場合に限り、これを認めてもかまいません（演奏判定や楽素の管理などは〔部位：頭部〕が行う扱いとなります）。

戦技《特殊楽器習熟》についても、原則としてコア部位にのみ効果のある戦闘特技であることに留意してください。

●QBR-005 : 「シザースコーピオンの騎乗について」

シザースコーピオンの騎乗について、「魔動機以外の騎獣には騎乗できない」とありますが、魔動機に騎乗した場合、どのように扱いますか？

ABR-005 :

シザースコーピオンは多部位ながら、例外的に「分類：魔動機」の騎獣に騎乗することが可能です。騎乗した際にはコア部位である〔部位：上半身〕の片手を騎獣の制御に使います。コア部位が騎芸を習得している場合、その効果は原則としてコア部位のみに適用されます。

騎乗時には〔部位：鋏〕〔部位：蠍〕は「同乗者」として扱います。また、「カテゴリ〈格闘〉」の武器は使用できない制限もそのままであるため、実質的に〔部位：鋏〕〔部位：蠍〕はほとんど動作が行えません。

魔動機の騎獣に「○搭載」の能力がある場合、シザースコーピオンの〔部位：鋏〕〔部位：蠍〕を、搭載可能な部位数だけ搭載している、として扱うことが可能です。その際はそれらの部位は搭載時に可能な動作を行えます。